



発行・編集
己斐上学区
社会福祉協議会
会長
森崎 晋介
広報委員会

年頭にあたり

己斐上学区社会福祉協議会

会長 森崎 晋介

皆様には平素より、己斐上学区社会福祉協議会の活動にひとかたならぬご理解とご協力を賜りありがとうございます。

昨年は、「いきいきサロン」「敬老の日の集い」「防災訓練」を実施するなど多くの方々の参加をいただきました。

各町内会をはじめ各種団体及び地域住民の方々のご協力により、当初の目的を達成することができました。

心から厚くお礼申し上げます。また、地域の見守り活動として行政の要請により己斐上学区災害時要援護者避難支援事業を開始し地域の見守りのネットワークがさらに充実してきました。

今年も地域の環境整備をスローガンに掲げ、安全で住みよいまちづくり、いざというときに助け合うなどの活動を積極的に進めていきたいと思っています。

ひとつひとつの活動が更に発展するよう努力してまいりますので皆様の一層のお力添えをお願い申し上げます。ご挨拶と致します。

己斐上学区社会福祉協議会

地区福祉推進委員・民生委員
児童委員協議会 合同研修会

己斐上公民館にて今年二月二十二日、四十名の委員が参加して合同研修会が行われました。

今回のテーマはボランティア。ボランティア活動のやりがい「思いを行動に」の演題で広島赤十字原爆病院医療社会事業課脇谷課長にご講演頂きました。

災害ボランティアの体験を交えて災害の現地は如何に大変か。情報の現地は如何に大変か。情報を早く伝える事の大切さ。防災防犯に強い地域づくりは顔

の見えるネットワーク構築が重要。災害に備え日常備えておく物。ボランティアは出来る事を出来る人が出来る時に気持ち良く真剣にやる事により信頼が生まれ、元気が分かち合える事。

等を熟くお話し頂きました。西区社会福祉協議会松井事務局

長は、「福祉のまちづくりとボランティア」について、己斐地区はコミュニティ活動、いきいきサロン活動が活発な地域。これから地区ボランティア活動を活発にするには、見える活動拠点の確保とボランティアコーディネーターの確

保が両輪であり、既にボランティアバンク活動をやっている各地の活動事例を紹介されました。研修会まとめて田中福祉推進委員代表から、「老後を楽しく生きるには自分の事は自分が守るが基本だが、周囲の見守り支え合いが大切。各町内でいきいきサロン活動はしているが、ボランティア活動拠点が無い。安全安心のまちづくりには活動拠点ボランティアバンクが必要になる。」又、

民児協椿原会長から「己斐上学区は高齢化し一人暮らしの人が増えており、災害時の体制作りが必要。社協と各種団体が一致協力して災害時には要援護者を支援するようにしてほしい。」と今後の活動指針が示され閉会しました。

前号(第二十七号)の誌上で、己斐上学区社会福祉協議会の役員改選で漏れがありました。左記の通りです。

常任理事 竹内健三(閑静園)

常任理事 竹内健三(閑静園)



研修風景

防災訓練実施

昨年十月五日、地震によって大規模な災害が発生したとの想定により西区防災訓練(己斐上学区自主防災会連合会)を行いました。

当日は小雨にも係わらず地域住民から約四百二十名の参加、多くの来賓又、学区外からの見学者もあり、徒歩による避難・負傷者の応急手当・救護活動・自主防災会リーダーの指導による見事な連携で運営マニュアルの検証をし、又、

防災フェア(各種の防災体験コーナー)、非常食の試食並びに炊き出し(女性会・母親クラブ)による豚汁がふるまわれました。

災害はいつ起こるか分からないので、地域と行政が一体となった「災害に強いまちづくり」の推進を参加者一同が確認しました。

「笑顔の見える・事故に遭わない地域づくりを」

日常生活の中で「地域」とは、

が問われている。そんな思いで、特に高齢者、一人暮らしの方とのいきいきサロン(月二回)昼食会(年二回)を開いて地域の事や日常生活での困りごと、楽しかったこと等を語りあっています。やっぱり笑顔が見える町にしよう。

そのためには、各種団体とのコミュニケーション。共催事業を通じての心の交流の大切さを話し合い。最後にいつまでも元気で笑顔を大切に「夢」と「希望」を忘れないで誓いながら・・・次回を楽しみに別れました。



応急手当講習風景

町内会便り

上四区より

「笑顔の見える・事故に遭わない地域づくりを」

日常生活の中で「地域」とは、

が問われている。そんな思いで、特に高齢者、一人暮らしの方とのいきいきサロン(月二回)昼食会(年二回)を開いて地域の事や日常生活での困りごと、楽しかったこと等を語りあっています。やっぱり笑顔が見える町にしよう。

そのためには、各種団体とのコミュニケーション。共催事業を通じての心の交流の大切さを話し合い。最後にいつまでも元気で笑顔を大切に「夢」と「希望」を忘れないで誓いながら・・・次回を楽しみに別れました。

「笑顔の見える・事故に遭わない地域づくりを」



いきいきサロン風景

閑静園より

昨年十二月十四日(日曜日)に町内慣例の「餅つき大会」を開催しました。

会を祝うかのように快晴となり参加者一同、喜びの声をあげ、早朝より前日から浸漬していた餅米(五十kg)を蒸籠で蒸し、力自慢の男性がつき上げ、一方女性が小豆から大鍋で煮た餡作りの餡入り平餅が十五名ほどの人数で次々にでき、又、ぜんざい作りにも汗を流しました。

当日は、町内の子供会が他の行事と重なり前年より子供の声が少ないのがお手伝いには多数の参加があり、全ての作業がスムーズに進み、他の行事に参加していた子供達も、ついた餅や、ぜんざいが出来る頃には帰って来て参加し、餅及びぜんざいは短時間で完成しました。

「餅つき大会」終了後、引き続き町内の忘年会を開催しましたところ、多数の参加者で賑わい、今年度の町内行事が全て無事に終了したことに感謝して来年度も皆で元気を出して頑張ろうと声を掛け合い、のど自慢の方の唄声を楽しみながら賑やかな幕引きとなりました。



餅つき風景

上三区より

グラウンド・ゴルフ

グラウンド・ゴルフはゴルフをアレンジしたスポーツとして、昭和五十七年に鳥取県泊村で文部省の生涯スポーツ推進事業の一環として誕生したスポーツだそうである。上三区町内会でも健康と親睦のためグラウンド・ゴルフを始めた。グラウンドは第四公園を使用しているが、その中にはブランコ・滑り台などの遊具があり狭く、競技のコース設定に苦慮している。ゲームは決められたスティックでボールをいかに少ない打数でホールポストに入れるかを競うわけだが、何とか上手にコースを作り皆でわきあいあいと腕を磨いている。その日のスコアに一喜一憂しているのだが・・・各参加者のスコアを全てパソコンに入力して忘年会などイベントのとき成績発表をして商品贈るが勿論全参加者がそれぞれ見合っ

た賞品を手にするわけである。ゲームを始める前に皆で公園の草取り、清掃をするのも恒例となっている。また、近くの幼児がママさんに連れられて砂場などで遊んでいるのに声をかけ、笑顔で答えてくれる子たちに会えるのも楽しいひとときである。

時には、標準コースのある施設にも出かけたりにして日頃の腕前を競っている。何時でもどこでも誰でも参加できるスポーツなので仲間が増えることを望んでいる。

国迫団地より

防犯研修会を開く

今年二月八日(日)公民館において町内防犯防災研修で今年度はテレビ・新聞等でよく報道されている振り込め詐欺の被害を取り上げた防犯研修会を県警本部から講師を迎え、被害に遭わないための指導を受けました。四種類(還付金詐欺・オレオレ詐欺・架空請求詐欺・融資保証金詐欺)のだましの手口と事例又、対応策を参加者全員が学びました。



研修風景

日生東より

「三世代ふれあい」悠々会

今年度四回目となる「三世代ふれあい」集会は、今年一月二十五日 己斐上公民館において、小学生とその保護者及び町内会一般の合計三十九名が参加して終始和やかで笑いや大きな声援がとび交う楽しいひとときを過ごした。

集会の前段は、小学生GPと・保護者、一般の2GPに分かれてカーリング競技を行った。その結果、小学生の部で、なんと一年生の三原萌望ちゃんが、保護者一般の部では中垣内昌子さんがそれぞれ優勝した。

後段では保護者の皆さんによる「手作りぜんざい」がふるまわれ子供たちの中には、おいしいとおかわりをして大満足。皆でテーブルを囲み、明るくて楽しい「三世代ふれあい」集会でした。



三世代ふれあい参加者

大迫団地より

「恒例の冬の祭り」寒さ吹き

今年一月十一日(日)大迫第一公園で恒例のファイヤーフェスティバルを開催しました。「とんど祭り」を、良い機会と捕らえて、消防署ご指導の下、防火訓練を含めて防火意識を高め安全で住みよいまちづくりに貢献しようと思ったネーミングです。今年は極寒の中での開催でしたが、年頭の忙しさも一段落とあつて、三割り増しの大盛況で例年どおりの、豚汁、ぜんざい、燗酒とおつまみも、あつという間に美味しく完食、ビンゴゲームや抽選会に大人も子供もワイワイガヤガヤ! たのしい門出となりました。



とんど点火

編集後記

これから先もよりよい「こいうえ」紙を発行して行きたいと思っておりますので原稿をお寄せ下さい。又、本紙に対するご意見等を頂戴出来れば幸いです (広報委員会 松本)